

病院機能評価と友愛記念病院の評価認定

前号でも速報をお伝えしましたように、2008年11月17日、友愛記念病院は病院機能評価Ver.5.0の認定を受けました。ところで、この病院機能評価とは、どのようなものなのでしょうか。もう少し詳しくご紹介しましょう。



信頼の証として病院を選ぶひとつの目安に

病院機能評価とは、厚生労働省の外郭団体である第三者機関（財団法人日本医療機能評価機構）が、病院がその機能をきちんと果たしているか審査し評価するものです。機構が定める基準に達していると認められた病院には、認定証が発行されます。この認定証が信頼度を示すとして、患者さんが病院を選ぶ時のひとつの目安となります。

見逃していた課題をひとつずつ改善

当院では、2006年に病院機能評価取得のための準備委員会を設立し、審査への準備を進めました。

委員会の活動は、病院の現在の姿を見つめるところから始まりました。当院では、業務改善大会の開催や、患者さんの権利の掲示など重要な取り組みの大半は、以前から積極的に行っていました。それだけに、当初、審査準備はほぼ整っているように思われました。ところが実際は、実施が不十分であったり形だけの実施になっているものなど、課題がいくつか発見されたのです。それからは、委員会を中心に院内が一丸となり、課題をひとつひとつ改善していきました。

改善の良いきっかけに「やってよかった！」

「評価認定がもらえるかどうかではなく、基本的にやってよかったですね。できているつもりになっていたことを振り返る、良いキッカケになりました。」と語るのは、委員長の杉山節郎医師。今後は、せっかく築いたこの良好な状態をしっかりと維持していくことが大切。職員一同、あらためて気持ちを引き締めています。

病院機能評価Ver.5.0の認定証
2009年1月19日現在、全国の全病院数8832のうち、認定病院数は2540。（審査を受けるかどうかの判断は、病院の判断です。審査を受けない病院もあります）



「審査用の資料だけで、こうした分厚いファイルが100冊以上に」と杉山節郎委員長。それなり苦労もありましたが、資料をまとめながら一人ひとりの意識が深まっていきました。

病院機能評価Ver.5.0の主な大項目

1. 病院組織の運営と地域における役割
2. 患者の権利と安全の確保の体制
3. 療養環境と患者サービス
4. 医療提供の組織と運営
5. 医療の質と安全のためのケアプロセス
6. 病院運営管理の合理性